

競技注意事項

1. 開催日時 令和4年4月29日（金）4月30日（土） 競技開始 1日目9：00、2日目8：45
2. 会場 三ツ沢公園陸上競技場
3. 規則 2022年日本陸上競技連盟競技規則並びに、本大会申し合わせ事項に準じておこなう。
4. 変更・訂正 競技者の変更は一切認めない。プログラム誤記の訂正は8時30分までに本部記録係へプログラムに添付してある所定の用紙で届ける。
5. 練習
 - ・競技場使用上の注意に従い、個別に行うこととする。ただし、投擲・跳躍の練習は審判の指示に従って行うこと。なお、本部のアナウンスに注意し、その指示に従うこと。
 - ・フィールドの公式練習は、全て試技順に呼び出して行う。
 - ・競技者以外の練習は認めない。
6. 競技用靴について
 - ・2022年度日本陸上競技連盟競技規則 TR5.2 及び(国内)競技用靴に関する主要規則を適用する。靴底の厚さが800m未満のトラック種目（ハードル含む）は20mm、800m以上のトラック種目は25mmを超えるシューズを使用することができない。本競技会において、フィールド種目は適用除外とする。
7. 招集
 - ・通常の1次コールは行わない。所定の時刻までに集まり、所定の位置で、最終コールを行う。

集合場所と種目	集合時刻
集合場所A：100mスタート付近 100m・110mH決・100mH決・4×100mR4走	競技順序に記載されている集合時刻を確認すること
集合場所B：200mスタート付近ゲート 200m・3000m・4×100mR3走	
集合場所C：1500mスタート付近 110mH予・100mH予・1500m・4×100mR2走	
集合場所D：フィニッシュ地点後方付近 400m・800m・4×100mR1走	
集合場所：各競技場所 フィールド種目	

- ・競技場所へ移動した後は、所定の場所で体を動かして良い。
 - ・短距離種目は2つ前の組、長距離種目は1つ前の組がスタートした時点で再度集合する。フィールドは、呼び出しがなかった時点でピットに出る。
 - ・招集に遅れた場合は棄権とみなし、競技に参加することはできない。
 - ・集合場所での受付は本人が必ず行うこと。このときアスリートビブス（ナンバーカード）・腰ナンバー標識、スパイクの確認を行う。（ピンの長さはトラック競技他9mm以下、走高跳12mm以下）
8. リレー
 - ・予選のオーダー用紙提出は、競技順序に記載されている提出時間に競技者係へ提出する。
 - ・決勝のオーダー用紙提出は、7時45分までに顧問から入場時にゲート担当者へ提出する。
 - ・競技者は、1～4走者のそれぞれ指定された場所へ集合時刻までに集合する。
 9. アスリートビブス（ナンバーカード）
 - ・胸・背に確実にとめる。ただし跳躍種目は、背または胸につけるだけでもよい。
 - ・布の大きさは、横240mm、縦160mmとし、数字は高さ10cm以上、幅5cm以上で太く飾り文字は使わない。白布には番号だけを記入し、学校名等は記入しない。男子は黒字、女子は赤字。ただし旧基準（白のB5版の大きさの布、男子黒、女子赤字で飾り文字は使用しない）のアスリートビブスの使用を2023年3月まで認める。
 - ・トラック種目では大会主催者が用意した腰ナンバー標識を使用する。選手は集合時刻までに競技者係で受け取り、右腰に付けておく（リレーは4走者のみ）。競技後に回収はしない。
 10. 計測
 - ・トラック種目はすべての競技者のタイムを計測する。ただし、中長距離種目は競技進行上、制限タイムを設け、下記の時間を超えた場合はただちに競技を終了する。

	800m	1500m	3000m
男子	2分30秒	5分00秒	10分40秒
女子	2分50秒	5分40秒	—

- ・フィールド計測ライン及びバーの上げ方は下記の通りとする。ただし当日の状況により変更することがある。
- ・走幅跳・砲丸投については、予選の計測ライン（予選通過記録）とする。

	男 子	女 子
走幅跳	5m50	4m50
砲丸投	9m50	9m00
走高跳	1m50（練習）1m55（5cm）・1m75（3cm）	1m30（練習）1m35（5cm）・1m45（3cm）
棒高跳	2m70（10cm）・4m00（5cm）	

- 1 1. スタート
- ・スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。
 - ・2022年度日本陸上競技連盟競技規則（TR16.5：スタート）の適用はしない。不適切行為があった場合、注意を与える。
 - ・3000mについては2段スタートで行う。
 - ・800mのスタートについては1レーンに1～2名入れてセパレートレーンで行う。
- 1 2. 予選通過
- トラック
- ・全ての競技者のタイムを比較し決勝進出を決める。同タイムの場合細部まで拡大して読みとり着差をつける。それでも決定できない場合、100m・200m・400m・ハードルは抽選とし、800m・1500mは次のラウンドに進出できる。
- フィールド
- ・走幅跳・砲丸投は上記の記録を予選通過ラインとし、これに達した場合は残りの試技はおこなわない。決勝は、すべての記録を計測する。走高跳・棒高跳は、連続する3回の失敗試技で、競技終了とする。
- 1 3. 順位決定について
- トラック
- ・すべての競技者のタイムを比較し順位を決める。同タイムの場合、写真を拡大し細部まで読みとり決定する。それでも決定できない場合は同順位とする。
- 1 4. 表 彰
- ・関東大会のリハーサルのため、一部の種目のみ表彰式を行う。各種目優勝者には選手権章・賞状、2位～8位までに賞状を授与する。
- 1 5. 応 援
- ・選手以外の来場は、付き添い生徒は各校1名までとする。
 - ・競技役員以外の引率顧問は1名までとする。
 - ・競技場内、練習場、招集場所には、付き添わない。
 - ・競技役員の指示に従い、他の選手との距離を十分確保すること。
 - ・大きな声での会話や声を出しての応援、集団応援はしない。
 - ・メインスタンドへの、のぼり旗・応援横幕の設置は禁止する。
- 1 6. 開閉会式
- ・開閉会式は、通告のみ行う。
- 1 7. 全般に渡る
注意点
- ・3密(密閉空間・密集場所・密接場面)を回避する行動をとる。
 - ・こまめに手洗いまたは手指の消毒を行い、手を清潔に保つ。
 - ・競技終了後の手洗い・手指消毒を徹底する。
 - ・全員がマスクを着用し、咳エチケットを遵守する。
 - ・競技者にはレース(試技)中のマスク着用は義務づけがないが、招集中・移動中・待機中などは熱中症に気を付けながらマスクを着用する。
 - ・競技者同士の会話は極力避けること。つば、たんを吐く行為は行わない。
 - ・招集後は荷物をビニール袋に入れ、所定の場所に置く。ビニール袋に学校番号を書くこと。
- 1 8. その他
- 競技場の利用のしかた
- ・「三ツ沢競技場使用上の注意・お願い」参照。

